

平成28年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	42	学校名	静岡県立静岡東高等学校	校長名	勝山博子
------	----	-----	-------------	-----	------

◎本年度の取組（重点目標はゴシック体で記入）

※1：理系高大連携推進委員会、 ※2：国際理解教育推進委員会 ※3：いじめ防止対策委員会 ※4：運営委員会 ※5：コンプライアンス委員会（相談員）

※6→旧帝国大学+9国立大学（筑波、千葉、東京工業、一橋、東京外語、横浜国立、金沢、神戸、広島）+国公立大学医学部医学科

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当	
(1)	<b>授業改善と学力向上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の授業公開率 100%</li> <li>・教員の教科指導セミナー参加者人数 3人以上</li> <li>・教員の先進校訪問人数 4人以上</li> <li>・校内教員研修参加者満足度 80%以上</li> <li>・教員のセンター試験問題確認率 5教科100%</li> <li>・授業が解りやすいと思う生徒の割合 70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜公開授業等を活用して、公開率100%を達成した。</li> <li>・駿台予備校など外部が主催するセミナーに、4人(英・数・理・体)が参加した。</li> <li>・国分寺高校、平塚江南高校、旭丘高校、一宮南高校の4校へ、10月に4人が訪問した。</li> <li>・アクティブラーニングに関する研修を行った後のアンケートを集計した結果、理解できた47%、少し理解できた49%であった。</li> <li>・1月末に確認と検討を行い、2月の職員会議において各教科より報告した。</li> <li>・今年度は、授業アンケートに基づき、各学年の教科ごとに(2年・3年は文理別)、授業理解度の平均値を算出したが、全学年の全教科において70%以上を達成した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>A</li> <li>A</li> <li>A</li> <li>A</li> <li>A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜授業を来年度も継続し、授業公開を今後も全教員を対象に行っていく。</li> <li>・授業や受験指導等の改善に役立てることができるセミナーに、今後も参加していく。</li> <li>・本校の現状をふまえ、先進校の事例から参考となる情報を今後も収集していきたい。</li> <li>・アクティブラーニングに関し、より実践的な研修への取り組みを進めていきたい。</li> <li>・本校生徒の課題をふまえ、今後の学習指導に活かして生きたい。</li> <li>・授業アンケートに基づく、授業に対する理解度の算出の方法について、各教科からの意見をふまえて考えていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修課</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜授業の外部評価 良好が80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度に対して90.0%が良好と回答している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に良い評価をいただいているが、生徒の問いかけに対する反応が低いなどの意見があり、授業改善を続けていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教務課</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年家庭学習時間 1日平均2時間以上</li> <li>・職員会議での模試の分析回数 3回以上</li> <li>・1・2年11月進研模試偏差値平均 55以上</li> <li>・センター試験平均点 全国平均+5%以上</li> <li>・3学年予備校DVD講座参加者数 40人以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の結果、1年：4月161.2分、6月150.5分、10月133.2分。2年：4月130.0分、6月125.4分、10月137.5分。いずれの調査でも2時間を超えている。</li> <li>・9月・1月・3月に実施した。</li> <li>・1年：平均偏差値57.6、2年：平均偏差値56.5（英数国）</li> <li>・センター試験の平均点は一部が未達成だった。未達成科目は数学ⅠA、数学ⅡB、日本史B。地理B、倫政、化学。</li> <li>・49人が希望し延べ174講座を受講。</li> </ul>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年：平均2時間以上は確保されたが、例年に比べて平均値が低い。一日平均90分以下の生徒が昨年度の倍近くいるので、面談等で個別に指導していく。2年：学習時間について個人差が大きく、全体の平均学習時間を意識しながらも面談などを通して個人に対応する。</li> <li>・各学年の問題点を日々の授業等の指導に活かしていくとともに、全職員で共有することで全校的な対応につなげたい。</li> <li>・1年：過去3年間では最も良い。どの教科でも例年より上位の生徒が多い一方、偏差値50未満の生徒も多い。上位層を伸ばす指導と下位層を底上げする指導を並行して行う。2年：3年に向かって3教科を中心に理科社会についてもバランスよく伸ばしていきたい。</li> <li>・各教科で行ったセンター試験問題分析を授業改善に活かし、全ての科目で目標の達成を目指す。</li> <li>・有効性を感じることが出来た生徒が78%（11月末時点）。難関国公立大学合格者数は昨年度19人から今年度は25人へと増加した。今後も最上位層の学力伸長に活用していく。</li> </ul>	<p>進路指導 課 学年</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の貸出本冊数 2,500冊以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月末までの貸出本冊数は2,967冊となった。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス貸出（学級文庫）もあり目標を達成することができた。今後も図書委員を中心に古本市やポスター作りなどで利用を促したい。</li> </ul>	<p>図書課</p>
(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門教養講座の単位取得生徒数 10人以上</li> <li>・生徒個人面談回数 5回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前期1人、後期6人の計7人と目標には至らなかったが、申し込んだ生徒は積極的に講義を受けている。</li> <li>・全体では1学期に1回実施できなかったのが、担任にもよるが、4回以上の実施という結果であった。</li> </ul>	<p>B</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活や学業で忙しい中、更に大学まで出向いて参加するのは大変であるが、参加することの魅力を宣伝して継続していきたい。</li> <li>・担任は多忙の中、時間を作って実施しているが、生徒理解の為にも重要なので、できる限り計画どおりに実施していきたい。</li> </ul>	<p>教務課</p>

志の育成と進路目標への挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア講演会生徒満足度 80%以上</li> <li>・キャリア講座生徒満足度 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果、生徒の満足度は74%であった。</li> <li>・アンケートの結果、生徒の満足度は97%であった。</li> </ul>	<p>B</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容が比較的難しく満足度が低かった。講演のテーマなどを工夫したい。</li> <li>・明確な目標を設定することの大切さを学ぶことができた。プレゼンテーション用機器の拡充が必要。</li> </ul>	進路指導課 学年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大学訪問生徒数 40人程度</li> <li>・東京大学訪問生徒満足度 80%以上</li> <li>・大学模擬授業生徒満足度 80%以上</li> <li>・センター試験5教科受験率 80%以上</li> <li>・国公立大学現役合格者数 180人以上</li> <li>・難関国公立大学(※6)合格者数 30人以上</li> <li>・ハイレベル模試受験者数 学年各30人以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生生理系の生徒38人が参加した。</li> <li>・アンケートの結果参加した生徒の満足度は、97%であった。</li> <li>・アンケートの結果、生徒の満足度は92.4%であった。</li> <li>・84.0%の生徒が5教科で受験した。</li> <li>・国公立大現役合格者数は176人。</li> <li>・難関国公立大合格者数は25人。</li> <li>・2年:47人が10月8日(土)に受験した。 1年:54人が2月11日(土)に受験した</li> </ul>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>B</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数は、ほぼ40人であり目標は達成された。夏休み中のため部活動によって大きく参加人数が影響される。</li> <li>・内容も充実しているが、大学側に大きく負担をかけているため継続については検討を要する。</li> <li>・大学について知る良い機会となった。講師によっては模擬授業というより大学紹介に近いものがあり、講座間の差が課題としてあげられる。</li> <li>多くの生徒が誠実に粘り強く最後まで取り組んだ。</li> <li>・進路検討会や面談を通じて適切で効果的な出願を行うとともに、二次試験対策の個人指導をきめ細かにを行い、進路決定につなげた。</li> <li>・DVD講座による上位層の学力伸長が有効である。今後とも高い志の育成と学力伸長に取り組んでいく。</li> <li>・生徒の向上心の喚起の機会としても継続させたい。</li> </ul>	進路指導課 学年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡大学での実習体験参加者数 20人以上</li> <li>・静岡大学での実習体験生徒満足度 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理学部2講座、農学部2講座に合計19人の応募があり、人数的にはほぼ達成できたが、当日、台風の影響で理学部・農学部1講座ずつが実施できず参加生徒は9人であった。</li> <li>・アンケートの結果、参加した9人中8人が</li> </ul>	<p>B</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡大学理学部・農学部の全面的な協力のもと、有意義な体験ができており、参加生徒の満足度も高い。部活や2学期に向けての学習で忙しい生徒にどのように参加を促し、参加人数を確保するかが課題である。</li> </ul>	※1

		講座内容に非常に興味を持てた・かなり興味を持てたと答えており、満足度は89%となった。				
(3)	能力や特性の育成	・遅刻生徒数 1日平均全校で7人以下	・12月までの結果は遅刻平均4.5人と例年よりも少なく良好である。	A	・引き続き遅刻を減らすよう、現在の状態を維持していきたい。	教務課
		・1・2年生部活動加入率 100% ・運動部活動県大会出場率 100% ・東海大会以上への出場部活数 5部活以上	・1・2年生の部活動参加率は100% ・19/20で100%には至らなかった。 ・9つの部活動で東海大会以上の大会に出場。	A B A	・全般的にどの部活動も意欲的な活動をしているとともに、学習にも力を入れている。中には全国大会で活躍する部活動もあり今後も継続したい。	生徒指導課
		・外部講師による部活動講座実施回数 10回以上	・運動部活動指導の工夫・改善支援事業を活用して、10回実施。	A	・県教委の事業を活用して実施したが、この事業が今年度をもって終了する。29年度以降の県教委の事業が活用できるか検討する。	生徒指導課
		・内湖高級中学校との交流回数 2回	・4月21日(木)内湖高級中学より生徒34人、教師4人が来校し、東高での交流会を、12月5日(月)東高生76人、教師5人が修学旅行で内湖高級中学を訪問し交流会を実施した。	A	・2回の交流会ともに学年や教科、部活の協力のもと有意義な交流となった。課題は、内湖高級中学の訪問日が4月中旬と、新年度が始まったばかりで日程的に余裕がないこと。	※2
		・修学旅行生徒満足度 各コース80%以上	・アンケートの結果、満足・だいたい満足を合わせると、九州コース97.1%、台湾コース98.0%であった。	A	・両コースともに高い満足度の有意義な研修であった。ただし、班別研修にかかる費用についての情報が業者との間で共有できていなかったため、次年度の計画に生かしていきたい。	2学年
		・生徒英語研修の参加者数 30人以上 ・英語研修の生徒満足度 80%以上 ・実用英語検定準2級以上取得者数 200人以上	・7/23(土)から7/25(月)の2泊3日でブリティッシュヒルズ(福島県)を会場に実施。参加生徒数30人。 ・アンケートの結果、満足90%、大体満足10%であった。 ・1年30人、2年65人、3年145人、計240人が取得している。	A A A	・今年度は参加人数が30人と例年に比べ多くの生徒が参加した。内容的には満足度も高い研修なので、参加者の確保が課題である。 ・委員会で検討した結果、平成29年度以降、研修先をブリティッシュヒルズのみで行う。 ・グローバル教育の推進、大学入試に対応した資格取得などを生徒に訴え、受検を促していく。	※4

		・文化教室生徒満足度 70%以上	アンケートで「良い」と答えた生徒62%	B	・演目により満足度が大きく変わるが、演劇の割には評判が良かった。来年度は古典落語の開催を予定。	図書課
(4)	命を守る教育の推進	・地域防災訓練への生徒参加率 80%以上	地域防災訓練への参加率71.3% (前年は81%)	B	・2年生は修学旅行と重なったため、1年生のみ参加となった。参加率には、その影響があると考えられる。	総務課
		・重大な生徒交通事故件数 0件 ・組織的な街頭指導回数 3回以上 ・交通教室回数 各学年1回以上	・入院を伴う事故が1件発生している。 ・街頭指導は3回実施した。 ・交通教室各学年1回以上実施した。	C A A	・本年度、特に顕著だったのは年度初めに1年生の自転車事故が重なったことである。次年度以降も効果的な安全教育を計画し、生徒の交通事故防止に努める。	生徒指導課学年
		・体罰・いじめの発生件数 0件	・0件。	A	・面談などでの教員から生徒への声掛けにより、深刻ないじめの発生はなかった。 ・職員会議などでの教員への啓発により、体罰の発生はなかった。	※5
		・生徒検診結果による治療率 前年度より向上 ・保健便りによる健康指導回数 15回以上 ・ウイルス性疾患による学級閉鎖件数 0件	・全校の治療率は59.6%、2・3年生の治療率および歯科治療率は前年度より向上した。 ・年度内保健便り発行回数は計17回。 ・ウイルス性疾患による学級閉鎖件数0件を達成した。	B A A	・検診項目の多い1年生の治療率が低かった。引き続き早期受診指導を徹底する。 ・ホームページ掲載及び生徒保健委員会との連携を継続する。 ・二酸化塩素発生剤設置を継続するとともに、ウイルス性疾患に対する啓発活動を充実していく。	保健課
		・グループエンカウンター実施回数 各学級1回 ・教育相談日より発行回数 8回以上	・4月に全学年全クラスでグループエンカウンターを実施した。 ・12月現在で相談日よりを6回発行した。	A A	・エンカウンターの実施後、親和感が平均して1.04ポイント上昇し効果が確認できた。 ・相談日よりは研修的な内容を含むので、今後とも適切なテーマを選び継続していきたい。	教育相談課
(5)	広報活動の	・土曜日の学校公開回数 7回(部活動公開2回) ・公開授業の参加者数計 1,900人以上	・計画どおり7回実施した。 ・1,558人	A B	・回数は問題ないが、中学生が参加しやすい日を選ぶ必要がある。 ・公開回数を1回減らした事や、中学から指定された部活動なしの日に実施した事等があり、全体的に数が減ってしまった。	教務課

充 実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜公開での校内美化への外部意見 批判0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月から11月の公開授業アンケートでは、批判1件(9/3床のほこり)であった。前年度の3件から減少したが、目標の0件は達成できなかった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理整頓・丁寧な清掃の呼びかけ、美化委員・保健委員による点検の徹底を継続したい。</li> <li>・委員会や部活動有志と連携し、公開日当日朝の清掃充実を図りたい。</li> </ul>	保健課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPアクセス回数 15万回以上</li> <li>・HP更新頻度 週5回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・36万回を超えるアクセス回数があり目標を達成した。(1月12日現在)</li> <li>・毎日HPの記事を更新した。</li> </ul>	A A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日平均1,300回ぐらいのアクセス回数があった。昨年度と比べると約1.8倍増加した。授業の様子や行事など多くのことを発信することができた。</li> </ul>	情報管理課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事掲載回数 40回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事掲載回数 22回で目標達ができなかった。(一般紙15回 スポーツ紙7回)</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12回取材依頼をしたが、実際に記者による取材は6回となった。それ以外で学校に関わる関係記事は16回あった。今後も広報活動の充実を図っていく。</li> </ul>	総務課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室窓口へのクレーム件数 0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クレームが1件発生し、目標を達成できなかった。</li> <li>・「事務室の電話対応での印象が非常に良い」とのお褒めの言葉をいただいた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過年度卒業生における証明書発行手続きの説明がわかりにくいとの御意見をいただいた。わかりやすい説明へ見直しを行った。</li> <li>・明るく丁寧な窓口業務を心掛け、本校のイメージアップにつなげる努力を続けている。引き続き、来校者の受付や電話の取り次ぎを丁寧かつスムーズに行っていく。</li> </ul>	事務室